

審議状況 第51回

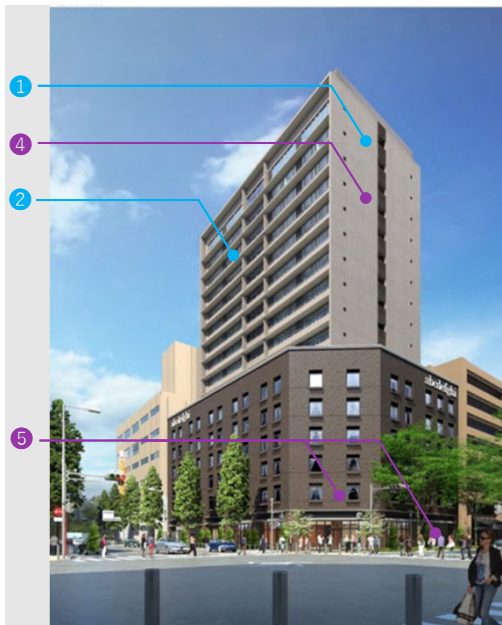
協議資料
現況写真



主なポイント 指摘事項

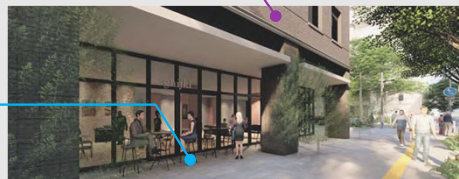
- A. ファード全体
 - ①
 - ・ ほとんど窓のないほうにまで庇を回す必要はない
 - ・ 低層部に配慮して高層部はシンプルに整理することが重要
- C. 高層部
 - ②
 - ・ 高層部の方の庇を、少し柔らかい、ソフトな感じにしてほしい
- D. 中層・低層部
 - ③
 - ・ 低層部のホテル部分は、もう少し抽象化したような窓デザインもある

第54回



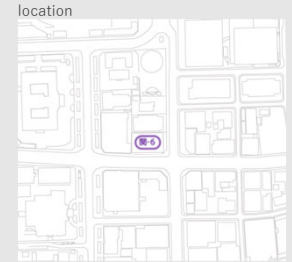
指摘事項 / 対応状況

- ①
 - ・ 窓のない面に庇のないシンプルなデザインに変更
- ②
 - ・ 庇を囲うようなデザインに変更
- ④
 - ・ 妻面側のつるつとした存在感に違和感がある
- ③
 - ・ 街並みと呼応した窓のデザインの構成とし、1階はピロティーとすることで街に開かれたにぎわい空間の創出に寄与している
- ⑤
 - ・ 低・中層部の素材感は引き続き考えてほしい
 - ・ 「妻面側」のオープンテラスのところをうまく使い、大さん橋までのシークエンスを面白くするため総合的に検討すべき



▲低層部イメージ

現況



▲低層部

景観形成の考え方

- 基壇部の周辺との調和性とにぎわいの創出**
- ・ 本町通り側に対面する旧横浜市外電話局（横浜都市発展記念館・横浜ユーラシア文化館）とゆるやかな共通項（1階部分の柱とポツ窓の配置によりリズムをきざむ・コーニスや1階部分の白色を基調とした小庇等の水平ラインを設ける）を持ち、呼応したデザインとなっている。
 - ・ 本町通り側と大栈橋通り側にも店舗やテラス席が接する計画で、賑わいの創出が図られている。また、隅切り部に出入口も設け、交差点側ににぎわいを創出している。
- 周辺環境の状況から色彩を検討**
- ・ 基壇部は、周辺の街並みに合わせて落ち着いた色彩とし、素材感のあるスクラッチタイルを用いている。
 - ・ 高層部は、圧迫感を低減しつつ、落ち着きのある暖色系の色味として、関内地区に調和する色彩を用いている。
- 高層部の圧迫感を軽減する工夫**
- ・ 妻側、桁側で異なるデザインとなったことにより、大さん橋通りと本町通が交わる交差点から当該建築物を見上げた際に、彫の深い桁側とシンプルな妻側の2面として捉えられ、印影に強弱がつくことで、すっきりした印象の高層部としている。
 - ・ 桁側の袖壁については袖壁のラインよりもスラブのラインが勝つようデザインされており、横長の窓の配置と併せ、業務エリアである関内地区になじむよう工夫がなされている。

審議経緯

審議 51 (2019年6月25日)

【ファサード全体】

- 外・建物の形が変になってしまっている。ほとんど窓のないほうにまで庇を回す必要はないのではないか。①
- 特に低層部の質感や素材、意匠などに配慮し、高層部はシンプルに整理することが重要だと思われる。①
- 分節を生かした何か、縦方向でいくのか、あるいはその間の窓とそれ以外とか、あるいは両壁のところはふさがれて壁になってもいいような、そういう庇のとり方もあるのかなと思う。
- 下の重厚な部分から、上が軽やかなものになる間に、アルミという全然違う素材が入ってきているところに違和感がある。
- 海の方に開けていくホテルのため、駐車場のボリュームの壁面になっているようなところの外壁の見え方に、統一性を付加できるとよい。
- 機械設備をルーバーで隠している点は、もう少しできるところだと思う。

【高層部】

- この地区では、低層部は地区の街並みとの連続性を重視しつつ、高層部はむしろ対比的に軽やかに、変にいろいろな歴史を持ち込まない感じがある。それに対し、高層部の方の庇がちょっと重たいのではないかな。少し柔らかい、ソフトな感じでやってもらいたい。②

【中層・低層部】

- 低層部のホテル部分は、ホテルだったらもう少し抽象化したような窓デザインもあると思う。普通に窓が空いていてマンションのような状態なので。③

審議 54 (2019年10月1日)

【ファサード全体】

- 7階テラスのルーフトップの空間の植栽については、景観にも関わるので今後検討してほしい。中・低層部と高層部をエレガントに分節する意味でも、そこに緑がちらちら見えながら人がいる空間があって、ふわりと分節されることは、空間の質を高める意味で重要である。

【高層部】

- 上部は、縦ラインを強調したデザインに変更し、宴会場のレイアウトも変更し、平面計画が外側ににじみ出ているという、アクセントがあってよい。
- 本町通り側のファサードが縦線だけで寂しいので、上部が別の素材で表現されてもいい。
- 色彩が白過ぎる。ここを見て泊まりたくなるホテルとして認識されることも非常に重要である。
- 造形的には縦の垂直のストライプが強調されているので、低層部の水平のラインとの間に非常に大きなギャップが出ているので、今後検討してほしい。
- 妻側の最上部のところも、サインがあるだけではなく何か素材とか変化をつけてもよい。④

【中層・低層部】

- 低・中層部の素材感は引き続き考えてほしい。⑤
- 中層部の上端でアクセントをつけているが、歴史的なものを背負うならもっと彫り深さを考えてよいし、差異を出すならば現代的なデザインとして洗練さに磨きをかけることもある。
- 大さん橋通り側の方に、もう少し表情を作れないか。
- 軸の交点という考え方があった方がいい。
- オープンテラスのところをうまく使うことで、大さん橋通り側の風景をつくっていくこともあるかもしれないので、「妻面側」となっている大さん橋通り側の風景をどうつくるか総合的に検討してほしい。⑤

基本情報

開発概要	
①建物名	シタディーンハーバーフロント横浜
②住所	中区日本大通5番2号
③用途地域	商業地域(80%/700%) 第7種高度地域 防火地域
④まちづくりに関する制度	日本大通り用途誘導地区地区計画
⑤敷地面積㎡	1,593.17
⑥建築面積㎡	1,155.67
⑦延床面積㎡(建築物全体)	12,410.65(13,848.91)
⑧容積率(%)	778.99
⑨建蔽率(%)	72.53
⑩階数	地上17階、地下2階
⑪最高高さ(m)	59.98
⑫用途・機能	ホテル・飲食店・駐車場
事業者	
①事業者	NTT都市開発(株)
②設計者	大成建設(株)
③施工者	大成建設(株)横浜支店